筑波大学
University of Tsukuba

University of Tsukuba
University of Tsukuba

明日のEXECUTIVE

筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類

2016

01 学類長挨拶

社会・国際学群　国際総合学類　学類長

関根 久雄

Sekine Hisao

「国際人」の育成

歴史的にも今日的にも、深刻な国際問題は絶えず再生産され続けています。2015年前半期だけを見ても、停戦中だったウクライナでは再び政府軍と親ロシア勢力間との戦闘が再開されています。ギリシャでは財政赤字が深刻化し、EUとの間で経済支援をめぐる綱引きが続いており、その動向は国際経済にも大きく影響を与えるものです。

問題の原点がそれぞれの国内にあったとしても、国際社会の力学と無縁ではありません。また、第二次世界大戦後の途上国開発は、６０年以上が経過した今日においても貧困削減を達成していません。むしろ逆に 自然環境や生活環境の破壊、民族間や宗教間の対立、経済的・社会的格差の発生と拡大、児童労働、ストリートチルドレンの増加など、様々な問題が生じています。さらに近年のIT技術の進化は、これらに関する情報を虚実織りまぜながら瞬時に世界の至る所に届ける役割を果たすだけでなく、国際金融や商業活動のあり方を変え、それらの複雑化を進めています。まさにIT技術が現代社会を下支えしているかのようです。

これらの事態に私たちはどのように対処したらよいのでしょうか。グローバル世界は、そしてローカルの社会や人間はどこへ向かうのでしょうか。貧困、差別、紛争、平和、開発、アイデンティティ、民主主義、自由貿易、規制緩和、氾濫する情報など、「今」を表すキーワードは無数にあり、しかも相互に複雑に絡み合っています。

国際総合学類は、これらの言葉を含め様々に表現される現代的諸課題に対し、グローバル、ローカル双方の視点からの深い洞察力と分析力を身につけ、豊かなコミュニケーション力を通して先見性と独自性に富む解決策を提示できる「国際人」の育成を目指しています。

国際総合学類での学び

国際総合学類には国際関係学と国際開発学の２つの主専攻があります。さらにその２つを横断する形で、国際政治・国際法、経済、文化・社会開発、情報・環境工学という、文と理にまたがる４つの分野が存在しています。これら４分野の科目群を広く学び、その上で１つの専門分野を深く追究することになります。

（1）分析力

日々激動する国際情勢を読み解くには、確かな分析能力が必要です。国際総合学類はこの能力が身に付くようなカリキュラムを用意しています。政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力が身に付くように養成します。さらにフィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。

（2）コミュニケーション力

国際総合学類では３分の１近くの授業が英語で行われています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッション中心のものや日本の伝統文化を英語で読み解く授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。また、国際総合学類が属する社会・国際学群には社会国際学教育プログラム(通称G30)という全科目英語による留学生向けプログラムがあり、日本人学生も同プログラムの科目を履修することが可能です。

（3）統合能力

分析力、コミュニケーション力を培った上で最後はそれらを動員し、問題をより高い視点から一つの考察へまとめ上げることが大切です。国際総合学類には独立論文というユニークな制度があります。通常、すべての学生は３年次から専門ゼミに所属し研究を進めていくことになります。そして３年次末に独立論文を執筆し、専門分野に関する研究の中途段階における成果発表の機会としています。これは、個々の研究の土台作りであり、学生が長いスパンの中で一つの研究テーマを掘り下げ、研究により深みを持たせるためのものです。これらは４年次でさらに探求され体系化されて最終的に卒業論文(必修)としてまとめられます。様々な授業を通して培った総合的な力を専門性につなげる学びを、国際総合学類は推進します。

国際総合学類を表現すると

「日々成長できる場所」「ヴァイタリティの塊」「天井知らずの探究心」「洗練されたカオス」「Colorful」「好きなことを好きなだけ」「海」等々。これらは国際総合学類生(「国際生」)自身が本学類について表現した言葉です。様々な個性が国際総合学類という土壌で芽を出し、花を咲かせようとする姿がこれらの言葉に込められています。

国際生は筑波大学の中でも伝統的に特に優れた特質を持っています。明るく、何事にも積極的で行動力があり、国際生どうしの結びつきが強く、豊かな創造性を備えた若者たちです。また、国際問題はもちろんのこと身近な社会問題に対しても高い関心を寄せ、自らの意見をもち、その 内容を論理的に表現する思考力とコミュニケーション力を持っています。このような特質は、在学中に多くの国際生が海外の大学に留学したり、国内外の企業や団体、官公庁などでのインターンシップに参加していること、また学内外のサークルやNGOを通じて途上国支援や国内の難民支援などに携わったり、国際問題に関する議論の場に参加していることにも現れています。そのことは本誌の後ページに登場する国際生(３年生)たちの溌剌とした表情からも読み取っていただけるのではないかと思います。ちなみに、本誌は国際生自身による企画構成と編集作業によって製作されています。

誰でも暖かく迎え入れ、日々の活動の中で互いに刺激し合いながら志を高め合うことのできる場、それが国際総合学類です。

02 カリキュラム紹介

国際関係学主専攻

国際関係学主専攻は、現代の国際問題に対する理解を人文・社会科学を中心に学際的な観点から深め、政策志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。国際関係学主専攻では、学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域ごとの垣根を低く設定していますが、それだけに自ら系統的に学習して行く努力が要求されます。

専門科目

国際政治・国際法分野

カナダ政治
アジア政治
ロシア政治
現代日本外交史
現代中国研究
ラテンアメリカ政治
国際政治学
国際機構論
国際相互依存論
現代政治分析
日本政治思想
東洋政治思想
情報戦略と政治
政治外交史
欧米政治外交史 I
Japanese Foreign Policy
安全保障論
政治思想史
アジアの国際関係
東アジア国際関係史
ヨーロッパの国際関係

国際通商論
国際組織法
国際政治経済学 I
アメリカ外交史
Globalization & Development
国際労働法
国際経済法
国際法II
国際法 I
国際民事訴訟法
憲法 II
憲法 I
Japan and the World
行政学 I
国際紛争論 II
国際紛争論 I
中央アジアの国家と社会
市民社会論
ヨーロッパ政治
日本政治
比較行政学
ラテンアメリカの国際関係
ロシア・東欧の国際関係

卒業 論文

国際学ゼミナール I
国際学ゼミナール II
独立論文
インターンシップ I
インターンシップ II

経済学 分野

国際貿易論
国際金融論
公共政策分析
公共経済学
ジャパニーズ・エコノミー
ヨーロッパ社会経済史
比較経済論
ミクロ経済学
マクロ経済学
基礎経済数学
経済数学

世界経済史
統計科学
計量経済学
開発途上国における諸問題
北アフリカの経済と社会
開発経済学
都市経済学
Mathematical Economics
History of Economic Thought

国際開発学主専攻

国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく環境保全、社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協調など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・文化・社会開発の授業科目領域および情報・環境分野の授業科目領域が設定されています。

専門科目

文化・社会開発分野

国際文化論
言語人類学
比較文化演習
野外調査法
人類学特講
現代社会論

スポーツ文化論
地域開発論
開発人類学
教育援助政策論
国際教育論
教育開発論

Social Anthropology (社会人類学)
Contemporary Culture (現代文化論)
Population & Development
Population & History in Japanese Perspective (日本人口史)
Outline of Japanese Education (日本教育概論)
Public Policy

情報・環境分野

応用数学
情報科学 II
科学技術史
C プログラミング
データ解析
国際学遠隔配信セミナー
水環境論
都市文化共生計画
住まいと居住環境の計画
宇宙開発
環境政策論
音声聴覚情報処理
パターン認識

コンピュータグラフィックス基礎
インタラクティブ CG
ディジタル信号処理
情報セキュリティ
都市計画実習
都市計画原論
社会基盤と国土
都市計画の歴史
都市計画の思想史
エンジニアリング入門
コンピュータネットワーク
知能情報メディア実験 A
知能情報メディア実験 B

専門基礎科目（選択）

国際関係論
比較政治学
国際関係史序説
国際法概論
初級ミクロ経済学

国際経済論
マクロ経済学概論
グローバルコミュニケーション論
文化・開発論
数理科学 I

数理科学 II
情報科学 I
情報メディア概論
法学概論

Media Politics
English Discussion Seminar I
English Discussion Seminar II
English Discussion Seminar III
English Debate

専門基礎科目（必修）

国際学概論 I
国際学概論 II
国際学概論 III
国際学概論 IV
国際学概論 V

05 分野紹介

国際政治・国際法分野

回答者：齋藤里奈（大友ゼミ）

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

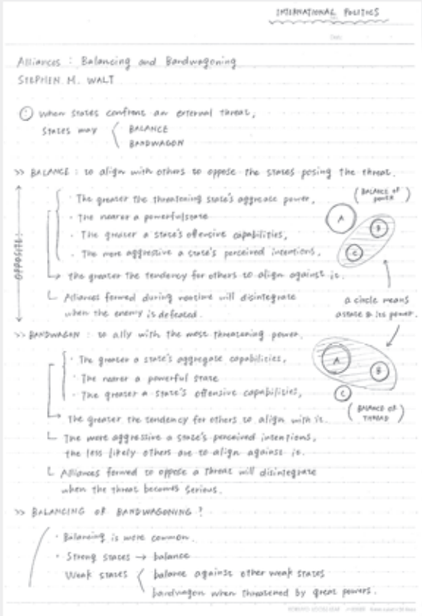
高校までの学生生活において、私は好きな教科を１つに絞って挙げることができず、より多くの教科を幅広く勉強することが好きでした。「広く、浅く」が自分には合っていて、そのため学ぶ対象が広く、選択肢も多い国際総合学類を選びました。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

私は暗記科目が苦手で、高校では世界史をとらなかったのですが、大学に入学し関係学を学んで、世界（国際政治）の動きを分析することに興味を持ちました。自分の生きるこの世界がどう動いて歴史ができ、今どう動いているのか、単純に知りたくなったのです。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

おもに、国際関係学の英語のテキストを輪読・ディスカッションしています。テキストの内容は国際政治理論から実際の紛争・政策まで幅広く、毎回扱うテーマが異なります。内容の理解を深めたのち、「自分が政策決定者であったら？」等のディスカッションに移るのが大まかな流れです。



経済学分野

回答者：筑井瑞穂（中野ゼミ）

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

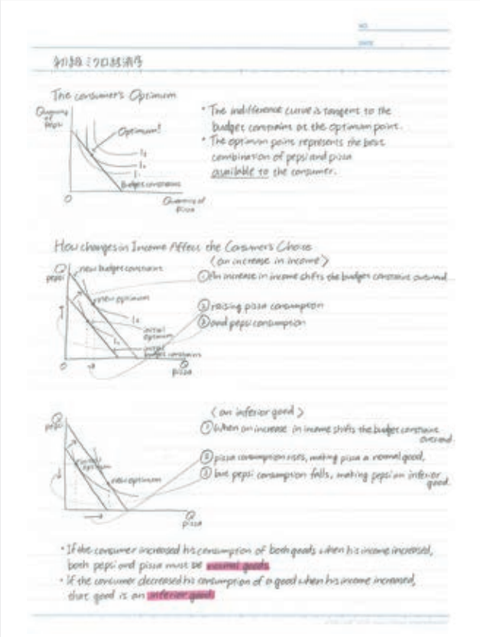
国際的な分野へ、漠然とした形でしたが関心がありました。国際総合学類では、政治・経済・文化・情報などと幅広い分野を学ぶ中で、多角的な視点を持ちながら、興味への具体的な関わり方を見つけていくことができるのではないかと思いました。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

初級ミクロ経済学で、経済学の奥深さに感動し、魅力に引き込まれたからです。開発途上国の貧困状態について、経済学の理論や実際のデータを分析して問題にアプローチしていく開発経済学に興味を持ちました。現実に起きている現象が経済学的にきれいに分析されているのをみるとわくわくします。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

開発経済学関連の文献（今年は速水裕次郎先生の「Developing Economics」）の輪読と、ゼミ生の論文発表をしています。偉大なゼミの卒業生も顔を出してくださるご飯会は、毎回とても楽しく、学ぶことも多くて刺激を受けます。



文化・社会開発分野

回答者：藤木耀（関根ゼミ）

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

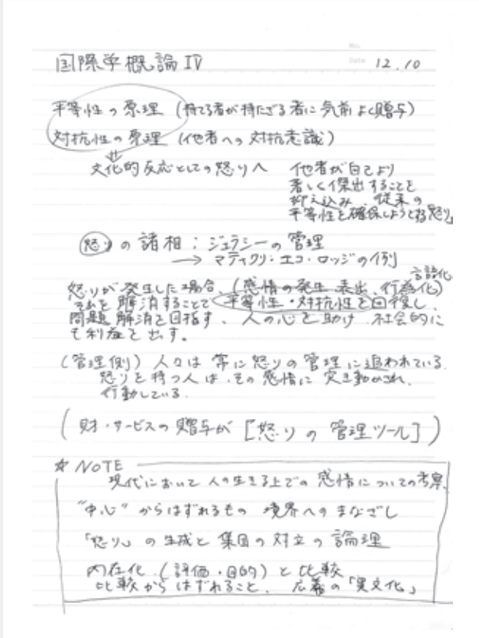
外交や軍縮、武装解除、平和構築分野への関心と開発や国際協力の業界で働きたいという気持ちが同時にあったことです。また、専門にしたい学問を考えたかったからです。アプローチの方法や働き方を探りながら選べるのは魅力的でした。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

社会の問題にアプローチする際に、社会全体の流れや、人の動きや行動の理論を踏まえた上でいま起きている現象に近づいて直接人と触れ合って考えたかったからです。これから起こりうることや物事を捉えて書くことに関心があったからです。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

春学期は文化人類学や開発に関わる文献を輪読して、内容についてディスカッションしています。秋学期は卒業論文や独立論文の内容を発表し、質疑を行いよりよい論文の完成を目指します。詳しくは関根先生のホームページを参照していただけるとありがたいです。



情報・環境工学分野

回答者：松井純一（奥島ゼミ）

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

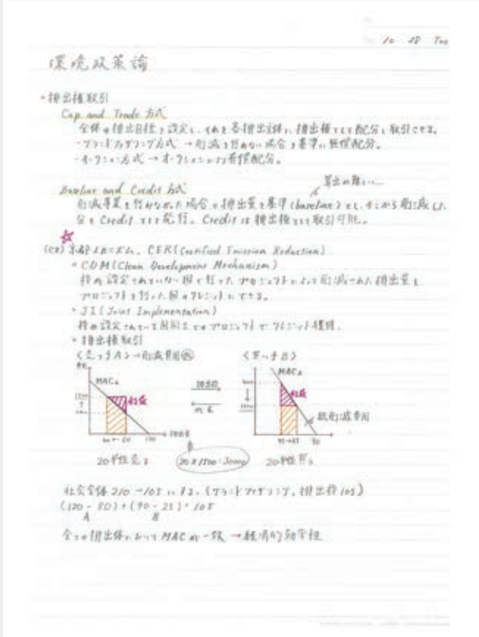
グローバルに活躍するということに対する憧れはあったもののやりたい分野がはっきりしていなかったため、多分野の勉強が出来る国際総合学類を選びました。また英語の勉強ではなく英語で勉強する機会が多くあることも理由になりました。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

環境問題や野性動物保護に昔から興味があったものの文系でその勉強をして何が出来るの？という不安が最初はありましたが、やはり自分のやりたい気持ちに素直になろうと思い環境分野に進みました。環境学と言っても幅は広く、そのためとてもおもしろいです。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

ゼミ全体では輪読をしています。今年は持続可能な発展がテーマでした。個人では環境先進都市といわれるストックホルムとその周辺都市について研究しています。他のゼミ生は国内のエネルギー問題、廃棄物問題等、個人の興味に合わせた研究をしています。



07 教員紹介　研究分野／①専攻の面白さ ②学生へのメッセージ

国際政治・国際法分野

Politics and International Law

政治系と国際法学の科目を中心に、社会学類開設の憲法や行政学等を共通科目とすることで履修科目の充実を図り、国際社会の多様化、高度化、グローバル化に対応して、幅広い分野における調査、分析、政策立案などの高度な実践的能力を有し、日本国内だけではなく国際社会においても指導的役割を果たすことのできる人材の養成を目的としています。

赤根谷 達雄
Tatsuo Akaneya

勢力均衡論や国際レジーム論などの国際政治理論、日本の安全保障問題

①歴史を紐解くと、日本という国は、外国との関わりのなかで、国柄を形成してきたことが分かります。第二次大戦以降は、米国との関わりが決定的な影響を及ぼしました。そうした歴史を、国際関係論の視角から読み解いていくことが、研究上の醍醐味です。
②昨今、「集団的自衛権」が論争の的となっています。この論争は、第二次大戦前の日本の同盟政策からどのような教訓を得るかということと関係しています。現在の政策論争を皆さんがリードするためには過去を知る必要があり、また歴史と理論の融合的理解が大切です。

遅野井 茂雄
Shigeo Osonoi

国際公共政策専攻、国際地域研究専攻 ラテンアメリカ研究、比較政治学、国際関係論

①英語に加え現地語の習得、二つ以上の専門性（学際性）、なんでも食べられる胃袋、どこでも寝られる体力、誰とでも話せる胆力など、地域研究には多くの困難が伴いますが、それは価値観の異なる人や文化を知り、人の何倍も人生を生きるよろこびを与えてくれます。
②皆さんが40代50代となる21世紀の半ばの日本を想像してみてください。現状では人口は1億人を割り、地方自治体の半分は消滅します。日本に軸足を置きつつ、人口と経済の拡大する新興国で仕事ができる能力を身につけることが肝心です。

中村 逸郎
Itsuro Nakamura

ロシア政治

①ロシアは多民族国家ですが、もっともおもしろいのは主民族のロシア人が他民族の文化、慣習を受容し、この結果として自分たちの固有文化の多くを喪失してしまったことです。ロシアは、中心のないドーナツのような国です。
②世界各国の政治、民族、文化の多様性を理解し、この多様性のなかに自分の潜在力を生かす チャンスを見つけ出してください。

首藤 もと子
Motoko Shuto

国際関係論　（東南アジアの国際関係, ASEANの制度化、ASEANと日本や中国との関係）

①知ることはそれ自体が面白いことですが、体系的な知識をもつように努力すれば、現在と過去の類似点や相異点を考えたり、個別の現象から普遍的な問題を考えたりすることができます。
②自分が将来どういう仕事をしたいのかを考えて、それに必要な専門的知識を学習すると同時に、幅広く本を読みながら、自分でよく考える姿勢を身につけることが大切だと思います。

レスリー タック川﨑
Leslie Tkach-Kawasaki

Political Communication, New Media and Politics, Website Analysis, E-science, Research Methods in Internet Studies

①My research area combines a traditional academic discipline — political science—with Internet studies and e-science (or "e-social science"). This combination of studies is always changing and is very fascinating.
②I hope that our students will be encouraged through their coursework and research projects to view the world from different perspectives. Developing expertise in assessing, comparing, and communicating different viewpoints is a necessary skill in today's world. Please join us!

毛利 亜樹
Aki Mori

現代中国政治、アジア太平洋の国際関係

①国内外で魅力的な人々に出会えます。時には、インタビューや公文書等を通じ、現在と過去の政府関係者や研究者たちの仕事を追体験できるのです。執筆は苦しいことも多いですが、それはまだわたしの修行が足りないからです。
②歴史と古典を学び、自分の味方にしてください。

Timur DADABAEV

国際関係学、国際政治、
中央ユーラシアの国際関係

①本分野は政府間の関係のみならず、様々な地域機構や世界各地の地域としてのアイデンティティを研究し世界の多様性を学ばせます。
②中央アジアの人々の生活と中央アジアの諸国の現状と課題、外交政策などを一緒に勉強しましょう。

潘 亮
Liang Pan

日本政治外交史、国際関係史

①歴史研究は関与したはずのない遠い昔の出来事を「後世の当事者」として追体験するチャンスを与えてくれ、そこでわかったこと、感じたことを現在または将来の出来事に対処する際、活用させる重要かつ面白さ満点の仕事である。埃塗れの文書ファイルを紐解く際、自然に溢れ出る知的好奇心、スリル感と使命感はいくら経験しても飽きることはない。
②大学時代は人間の記憶倉庫のなかで美しくて楽しい部類に入るべきである。だからこそ、四年間、ありとあらゆる努力と工夫をして、学問、そして人生を美しい姿で楽しんでください。

Nathan Gilbert QUIMPO

Political Science
and International Relations

①Now that you can vote, it would be much more interesting to learn about thenature and uses of power, and how decisions that affect people in Japan and thewhole world are made.
②There's a whole world out there to discover and experience. Your studies at Tsukuba University will certainly help you prepare for your career in a more globalized setting. But even while still a student, take advantage of opportunities to visit other countries and learn of other peoples and cultures.That would be even better preparation for the future.

東野 篤子
Atsuko Higashino

現代ヨーロッパの国際関係

①欧州連合（EU）を中心としたヨーロッパの国際関係を学んでいます。ユーロ危機、ノーベル平和賞受賞、トルコの加盟交渉の行方、ウクライナなどの周辺諸国の危機など、悲観的要素と楽観的要素が常に交錯するEUから、片時も目が離せません。
②たくさんの本を読み、貪欲に学んでください。

岩崎 美紀子
Mikiko Iwasaki

比較政治学　連邦制、二院制議会、カナダ政治

①謎解き。
②大学は専属的に「知」の訓練ができる最後の場所です。

Charles Edward COVELL

Jurisprudence/Political Philosophy; Comparative Public Administration.

①With Jurisprudence and Political Philosophy, I study theories of civil adjudication and the history and theory of international law. With Comparative Public Administration, I study the principles of the law, government and economic order of the People's Republic of China. In addition, I study themes in law and politics as these are presented and treated of in the arts, and with particular reference to film, music and literature.
②Students should work hard and endeavour to relate their activities while at university to what they see as their future career trajectories. To be successful in moving on to a meaningful employment or post-graduate track, students should organise themselves, and their time, on an efficient basis, and devote their energies to matters that are of longer term importance.

大友 貴史
Takafumi Otomo

国際政治理論、同盟

①正解がひとつではないというところです。
②国際総合学類は、問題意識が高く、行動力のある学生が集まるユニークなコミュニティーです。そんなコミュニティーの一員として、どのような貢献ができるのかを考えておいてください。期待しています。

吉田 脩
Osamu Yoshida

国際法

①「事実」と「(法)規範」の双方の分析に基づき、国内社会の規律を通じた国際共同社会（international community）の再構成を試みようとすること。
②1～2年次には個別の学問原理の態様に注意を払いつつも幅広く学び、3～4年次には専門となる分野をある程度まで特化できるよう、日々努力を重ねてください。

09 教員紹介

研究分野／①専攻の面白さ ②学生へのメッセージ

経済分野

Economics

深化する経済のグローバリゼーションと企業活動の多国籍化、地球規模の環境問題、先進国で急速に進む高齢化・少子化、経済成長の国際不均衡、発展途上国における慢性的貧困問題等の現代の経済問題を分析し、解決策を提案できる人材、あるいは様々な企業・政府活動において自分自身の行動の羅針盤となる経済知識を持つ人材の養成を目的としています。

柏木 健一

Kenichi Kashiwagi

開発経済学、中東・北アフリカ経済研究、中東・北アフリカの産業発展に関する研究

①中東・北アフリカ地域は、ユニークな生物資源の宝庫であり、産業化シーズの研究・開発の様々な可能性を持つだけでなく、文明の衝突や共存などの人間社会のダイナミズムが観察できます。近年不安定が進む中東・北アフリカ地域において、政治的安定と経済発展メカニズムを解明することは、グローバルな研究課題です。
②国際社会の様々な問題に知的アンテナを常に張り、熱い情熱を持って物事の大局と本質を見極める冷静な分析能力を養って欲しいと思います。グローバルな課題に対して自分の使命感を見出し、スケールの大きな人間に育ってください。

Martin POHL

Management

①We are permanently surrounded by management: when shopping, visiting a hospital ordering a book. Management is not focusing on the behavior of commodities, but on the behavior of people. As such, there is a fantastic variety of topics for creating a richer world, rich in spirit.
Last but not least: knowledge in management increases employability to be successful on the job-market or for continuing in a graduate program.
②The student time is the best time in life to try as many things as possible: traveling abroad, internships, communicating with people to obtain social knowledge. But balance your time: the main purpose ofstudying is learning competence of methods and expertise.

中野 優子

Yuko Nakano

開発経済学

①発展途上国の人々がどのように貧困から抜け出せるかを研究しています。アフリカ農家に話を聞いて得たデータを分析し、所得向上のための方策を途上国政府、援助関係者や農家の方々と共有できることがやりがいです。
②たくさん勉強して、色々な経験をして、悩んで、何か一つこれだと思えるものを見つけて下さい。

内藤 久裕

Hisahiro Naito

公共経済学、実証経済学

①第一に、社会の様々の事の原因には経済的背景があることだと思います。第２に、常識的には、そのような事は、ありえなのではないかという事柄に関して、論理的に切り込んでいって、その常識に挑戦する仮説をたて、データでそれを証明して、これまでの常識を、くつがえす事ができる点だとおもいます。
②よく学んで、いろいろな話をして、いろいろな本を読み、旅をしてください。それが、君たちの肥やしになると思います。

Jeet SAPKOTA

Economics of development, Asian economy, globalization and quality of life, access to infrastructure and human development

①Human poverty is still a major challenge globally, and socioeconomic inequality is rising across and within countries. Thus, exploring the policies that accelerate human development of lagging behind countries and people are extremely important in this rapidly globalizing world.
②University transforms lives. At this most important juncture, you will find the most beautiful dream of your life and pave the way to realizing the dream at our college. Open your heart, open your mind, and imagine the future of your life. Please join us, and enjoy your college life at Tsukuba!

黒川 義教

Yoshinori Kurokawa

国際貿易論、産業組織論、マクロ経済学

①普段当たり前のように耳にしている議論が、実は、簡単な経済学を使ってみると、根拠のない議論であったと分かる時があります。それは経済学を学ぶことで味わえる面白さの一つではないでしょうか。
②常にいま何がプライオリティなのかを見失わないように気をつけて欲しいと思います。また、短期でも海外留学することを勧めています。「日本（出身国）から来た誰々さん」というだけの裸の自分になれて楽になれます。

Abu Girma MOGES

Economic Policy

①Economic policy research appeals to me because it is where economists try not only to understand the economic world but also to shape it in a way for the better. It is where all the forces of economic, political, institutional and cultural forces interact to influence economic welfare.
②Learning is an enjoyable and challenging experience. The ultimate reward of the experience is when you put this skill to solve social and economic problems in society and to contribute for a better life for all with passion. And always remember, your future is brighter and longer than your past.

田中 洋子

Yoko Tanaka

企業・労働史、グローバル経済史、比較労働政策

①消費者として店で買物をしたり、アルバイトとして働いたり、スマホで情報を得たり、こうした日々の生活はすべて、グローバルな経済や企業の活動から大きな影響を受けています。どんな仕組みで経済が動いているのか、その中で私たちの生活はどう変わりつつあるのかを考えています。
②大学生のうちに、自分の足で、五感で、世界を見て、グローバル化の現実を肌で感じてきてください。その経験は間違いなく、世界の人々への理解を深め、世界を見る眼を研ぎ澄まし、人生にとっての貴重な財産となるでしょう。

Zhengfei Yu

Econometrics

①In the modern world, we are bombarded with data and empirically justified conclusions, which often can be misleading. Econometrics not only gives us tools useful in data analysis, but it also force us to approach empirical evidence critically, think about the mechanisms behind it, and gives us an ability to recognize spurious relationships and uncover true causality.
②College students are privileged: you have the time, energy and ability to explore whatever attracts you. Enjoy and make full use of your college life before routine and boredom descend.

文化・社会開発分野

Culture and Social Development

国際舞台を目指す学生に現代社会で生起する諸現象を文化の側面からアプローチする視点を定着させると共に、西洋中心の近代的価値観や諸制度を所与のものとすることなく、人間の文化の多様性を認識・尊重しつつ、異文化空間における広い意味での「対話（コミュニケーション）」を国際舞台で実践する事のできる人材の養成を目的としています。

井出 里咲子

Risako Ide

言語人類学、語用論、社会言語学

①日常のおしゃべりから国家の言語政策まで―文化社会という有機体をつくりだすことばというウナギみたいな生き物はなかなかつかめません。だからこそそれを捉える手法の諸々が魅力的な分野です。
②大事なことは目に見えない。たくさんの原体験を。

木下 太志

Futoshi Kinoshita

人類学、人口学、社会現象の数量分析

①人類学は、人間を文化、形質、歴史、言語などの様々な側面から勉強できる、たいへん興味深い分野です。たとえば、文化的側面について言えば、皆さんがアジア、アフリカ、オセアニアなど海外を訪れた際、そこに住んでいる人々の考え方が自分のものとは違うことに気づき、なぜ違うのだろうということを知りたくなるでしょう。このような疑問に答えてくれるのが人類学です。
②大学の４年間は、長いようであっという間に過ぎ去ります。この貴重な時間を無駄にせず、有効に使って欲しいと思います。自分の興味を持っていることを見つけ、それを４年間一生懸命勉強すれば、それがどのような分野であれ、皆さんはエキスパートになることができるでしょう。

Justin Charleboi

Applied Linguistics & Discourse Analysis

①Our cultural backgrounds influence our worldviews and can impact intercultural communication. The strategies people use to apologize, compliment, refuse, et cetera vary by culture and social situation. I am fascinated by such cultural and linguistic differences and believe that mastering such pragmatic aspects of language is critical to acquire proficiency in a second language.
②My advice to you is to seek out new experiences that will broaden your horizons and contribute to your personal and intellectual growth. I realize that college is also an uncertain period of time because students are attempting to chart their future life courses. Make it your goal to excel at everything you do and you will be successful. I wish you the best of luck.

11 教員紹介

研究分野／①専攻の面白さ ②学生へのメッセージ

関根 久雄
Hisao Sekine

文化人類学、地域開発論、
オセアニア島嶼研究

①人は物事に対する判断において、理知的でもあり、感情的・感覚的でもあり、本能的でもあります。それが生身の人間の姿であり、社会や出来事を形づくる原動力であるともいえます。人に注目し、フィールドワークを通じて人の多様なあり方（文化）を知り、そこから現代社会で生みだされる様々な課題を理解し、その解決の道を現地の人々と共にさぐる在野の姿勢に、この分野の魅力があります。
②考えが言葉になり、言葉が行動になり、行動が習慣になる。そして習慣が人格を形成し、人格が運命（さだめ）を作る。人が生きることの原点には「思考」があるということです。考えることをやめずに走り続けよう。

柴田 政子
Masako Shibata

教育社会史、歴史教育、比較教育

①近代国家にとっての国民教育制度の政治的・社会的機能を学際的な視点で考えるところ。各国の歴史教育政策は特に興味深い。
②多様な生き方のある社会で活躍できるよう、広い視野をもちながら様々な経験をしてください。

前川 啓治
Keiji Maegawa

文化人類学、開発の人類学、
観光による地域づくり

①なんといっても、現場に実際に身を置き、その視点から、何が問題なのか、どうしたら実際に意味のある関わりができるのかを考えることです。本物の人類学者は、常識にはまった発想をしないものです。（良識は必要ですが。）
②「はじめに言葉ありき」ー情熱を抱くものや対象があり、それを手に入れたければ、まず気持ちを込めて言葉にしてみよう。「～したい。」ではなく、「～しました。」と過去形で、話そう。現実とは、言葉の後に表出してくるものなのです。

山田 亨
Toru Yamada

人類学（文化・言語）

①フィールドワークを通じて、調査地が地元のようになること。同時にいろんなところに行けること。
②遊びと学びは程よいバランスで。

朱　藝
Yi Zhu

経営人類学、企業文化、
異文化経営

①経営人類学は、「参与観察」を通じて企業文化を読み解く学問です。「参与観察」では、研究者が企業の一員となり、内部の人々と共に働く中で、複雑かつダイナミックな企業文化を研究していきます。本研究の面白さは、文化の面から、企業で働く人々の行動に対して疑問を持ち、その疑問に対する答えを探す旅に出て、様々な体験をすることに尽きます。
②様々な心境を持って入学した皆さんに、まず、質問です。「あなたは、大学で何を達成したいですか？」答えは何でも構いません。たくさんやりたい事がある学生もいるでしょう。もう一度あなたに聞きます。「それは、大学でしか達成できないことですか？」これからの道は見えていなくても構いません。大事なのは、歩いて道を作っていくことです。

情報・環境工学分野
Information and Environment

ITの発展は目覚ましく、国際舞台での活躍を目指す学生にとって必須になるものであり、また、環境・資源問題が深刻さを増し、地球規模での取り組みが必要になっています。基礎的素養として情報リテラシー、深い洞察力・分析能力を身につけさせ、さらに情報・環境分野での専門性を深め、国際舞台で活躍できる文工融合型技術者の養成を目的としています。

石田 東生
Haruo Ishida

交通政策、社会資本政策、
国土政策

①地域、暮らし、産業を支える国土・社会資本・交通システムのあり方について、具体的提言と政策立案に直結する研究を具体的フィールドにおいて展開すること、またその過程で多くの人と協働すること。
②社会資本政策は多くの国・地域で常に最大の関心事の一つです。まじめに取り組みたい人は大歓迎です。関心のある人は話をしに来てください。

Simona VASILACHE

Computer science,
software engineering

①Computers represent this wonderful world that we so often depend on. However, they are very obedient, they do what we tell them to do. Learning how to make computers listen to us and help us is really interesting and cool!
②While being students, you can take advantage of two worlds: the children's world and the adults' world. Make the best of your student life and do not waste this precious time! Study hard, learn about the world around you, travel, read many books and make many friends!

奥島 真一郎
Shinichiro Okushima

環境経済学、エネルギー経済学、
政策分析

①環境やエネルギーに関わる問題について、主に経済学的な観点から分析しています。「市場」や「マネー」という手段を「人間」や「環境」という目的（善）にどのように結びつけていけばよいのか、日々悩んでいます。
②大学時代に、専門的知識だけでなく教養を、また「自ら学ぶ習慣」、「自ら考える習慣」を身につけることは、今後の長い人生において極めて重要なことだと思います。加えて、様々な「実践」にも是非勤しんでください。

鈴木 大三
Taizo Suzuki

メディア信号処理

①皆さんの身の回りから世界規模に至るまで、多くの情報メディア技術を支える学問、それが「信号処理」です。たとえば携帯電話や地デジ放送にも、そのノウハウがギッシリ詰まっています。
②世界の変化と共に、様々な情報メディア技術も日々進化を続けています。単に国際関係の知識を有するだけでなく、情報メディア技術の知識やそれを扱う方法を身に付ければ、世界における活躍の場が更に開けます。

高橋 伸
Shin Takahashi

ヒューマンコンピュータインタラクション（ＨＣＩ）

①コンピュータと人との関わり合いという面から、より良いコンピュータシステムを探っています。情報科学、数学、社会学、心理学、人類学、哲学など理系文系にわたって多くの分野に関わる学際的な研究分野です。
②国際総合学類はいろいろな分野の教員がいて、幅広いものの見方を学べる学類です。情報科学やＨＣＩも少しかじっておくと将来何かの役に立つかもしれません。

亀山 啓輔
Keisuke Kameyama

情報工学、特にパターン認識とメディア処理

①知的な情報処理をコンピュータに行わせる面白さは、お手本である人間がどのように環境をセンシングし、理解し、コミュニケーションを取り合っているかを見直すことで、人間をよりよく知ることができる点にあります。
②国際総合学類は、さまざまな視点、価値観、専門性を持った学生と教員のるつぼのような場所です。ぜひここで、誰にも似ていない、世界に一人だけの自分を精錬して、世界で活躍してください。

松原 康介
Kosuke Matsubara

多文化共生の都市計画

①歴史ある都市の活性化をテーマに、多文化共生、世界遺産保全、国際協力などの視点から研究しています。中東・北アフリカ地域（旧フランス語圏）を中心に、アジア・アフリカ、ひいては世界中の都市を対象とします。
②留学やインターン等の現地体験が不可欠です。自ら街を歩いて獲得したデータを、GIS（地理情報システム）により分析します。フィールドワークとメディア・リテラシーを、語学や実習を通じてしっかり養ってもらいます。

蔡 東生
Dong-Sheng Cai

宇宙情報、工学

①私が行っている研究は、宇宙気象とか、水星探査と関連しています。太陽系で、磁気をもっているのは、太陽、水星、地球だけで、水星は地球より太陽に近い軌道を回っており、到達困難な惑星です。再来年、打ち上げのBepiColomboという探査衛星計画に参加しています。地球の磁気は、宇宙から来る放射線から人間を守っていますが、この磁気は決して未来もあるわけではありません。太陽、地球の磁気観測をやっています。宇宙開発プロジェクトに参加してみたい人は、是非連絡してみてください。ロケットの打ち上げや、打ち上げ場は見てみる価値があります。
②18－20代の後半は生涯で一番成長の著しい期間です。この期間に、留学したり、経験を積むことは大事です。いろいろな経験を積む中で、自分の本当にやりたいことを探してください。自分の内なる声、「リトル自分（サッカーの本田選手は"リトルホンダ"といっていました）」に自分の本当にやりたいことを問い続けて下さい。

金山 直樹
Naoki Kanayama

情報セキュリティ、特に公開鍵暗号方式について

①情報セキュリティは私たちの生活で必須ともいえるインターネットを安全に用いるために必要なものです。その一つの分野である暗号理論が私の専門ですが、実はそこでは数学が「縁の下の力持ち」として活躍しています。
②これは学生の皆さんに限ったことではないですが、「歩きスマホ」はやらないでほしいです。歩きスマホをしていてお年寄りなどにぶつかっても何事も無いように歩いていくような人間には絶対にならないでほしいです。

白川 直樹
Naoki Shirakawa

河川環境工学

①自然の力を目の前にした人間の小ささを実感し、自然に立ち向かった先人の知恵を味わうことができます。
②真面目にコツコツ勉強しましょう。本を読みましょう。

13 留学体験記

第二の故郷

荒井大樹

「帰りたい。」私がモロッコに到着して最初に感じたことがそれでした。大学で学んでいたアラビア語を使いたいと思い、私はチュニジアへと飛び立ちました。途上国に慣れていなかった私にとって、チュニジアでの生活は毎日が刺激的でした。１か月のアラビア語研修が終わると、チュニジアに名残惜しさを覚えながらもモロッコに移動しました。モロッコに到着すると、チュニジアよりもはるかに発展している様子を見て、早くも帰りたいと感じました。

しかし、３日後にはその感情がまったくと言っていいほどなくなっていました。というのも電車のなかで、あるおじいさんと知り合ったからです。彼は、私が単語帳を見ながらの拙いアラビア語で話しても、熱心に耳を傾けてくれ、そのうえモロッコのいいところをたくさん教えてくれました。

そうこうしているうちに、大学が始まり、私は別の街に移りました。大学ではアラビア語と経済系の授業を中心にとりました。始めは、課題の多さについていけず、休日返上で図書館にこもっていました。しかし、１か月も経ち、授業にも慣れると、休日に友達と旅行するようになりました。何もかもが青い街、見渡す限りの砂漠、自然豊かなオアシス、そして迷路のような歴史地区など、旅行するたびに違った景色があり、ますますモロッコに魅了されていきました。

留学生活で最も大変だったことは語学でした。大学はアメリカ式のため英語で講義を行っていましたが、モロッコ学生同士はアラビア語を使い、一歩大学の外に出ると英語を使うことはできません。日本で１年間、チュニジアで１か月間アラビア語を勉強しましたが、それは書き言葉であったため、実際に話すときにはあまり役に立たず、「モロッコアラビア語」を学ぶ必要がありました。モロッコアラビア語に関する教科書などはなく、現地で人とコミュニケーションをとって覚えるしかありませんでした。最初のころは会話にならないことが多く、相手に呆れられることも少なくありませんでした。それでも、知らないものが出てくるたびに "achno hada?" (これは何？)と聞き、それを使っては一つ一つ覚えていきました。次第にモロッコ人との会話でアラビア語を使うのに抵抗がなくなってくると、もっとアラビア語で話したいと思うようになり、頻繁に旅行に出かけました。

最初にあったおじいさんの家には月に２回ほど訪れ、彼の息子や孫達と一緒に食事をとり、家族の一員として迎えてくれました。彼らと過ごす時間が日本に帰った今も恋しく感じています。「帰りたい。」この感情の意味が幸せなことに今となっては変わっています。

課外授業、ピザ屋にて

迷ったら勇気が必要なほうへ

及川あかね

国際総合学類に入学して3年目の夏、私はこのまま就活をして４年で卒業するか高校の時から夢だった留学に挑戦するか悩んでいた。そして迷いに迷い、４年生の春から10か月間韓国の梨花女子大学へ留学に行くことを決めた。

海外での長期滞在経験のない私にとって最初の3・4か月は、やはり想像をはるかに超えて大変なことばかりだった。特に韓国語に関してはできるだけ自然な韓国語を話せるようになるため、日本語を勉強している韓国人の学生たちと週に2・3回言語交換の活動を行った。また、毎日の生活の大部分を韓国人の友人たちと共に過ごすことでより韓国人らしい会話表現や話し方を身に付けることを意識したりもした。授業ではグループワークやプレゼン発表の機会が多くあり、自分から積極的に発言をしたり行動することが求められた。授業でしっかりと自分の考えを発言できるように毎回欠かさず予習を行い、放課後は友人たちと集まり理解が曖昧だったところを教えあう。一学期はそうやって必死なうちに過ぎていった。しかしそうした生活を続けていくうちに次第と周りの環境にも慣れていき、自分のペースを掴めるようになった。そしていつの間にか留学生活を楽しんでいる自分がいることに気が付いた。

韓国はよく文化や街並みが日本と似ているといわれる。実際に私も留学に行き、生活のところどころに日本と似ている部分があると感じた。また韓国には日本語を話せる学生や日本に友好的な学生も数多くいた。それゆえに周囲の環境に甘えてしまいそうになったこともある。留学初期の頃は今後の生活に漠然と不安になり夜に眠れなかったことも何度もある。決して楽しいことばかりではなく心が折れてしまうような経験もたくさんしたが、そのような経験ができたからこそ以前よりも考え方の幅が広がりどのような困難にも物怖じせずに向き合えるようになれたと思う。支えてくれる仲間や家族の大切さや有難さも身に染みて感じることができた。

どんな時も、迷ったら勇気が必要なほうへ。勇気が必要な道は困難が多い道かもしれないが、そこでの経験はこれからの人生の大きな財産になるはずだ。そう信じて私はこれからも様々なことに挑戦していきたい。

友達とお花見をしに汝矣島へ

海外に期待しない !!

宇土健太

「アメリカ留学に行って異文化の人々と過ごす中で自分の価値観が広がり、人生が変わりました!!」高校生の頃、留学経験者のこんな言葉を聞いた僕は「かならず海外留学する!」と心に決めて、この国際総合学類の門をたたいた。長期休暇のたびに海外へ足を運び、たくさんの経験を積む人が大勢いるこの学類は、まさに海外留学へ最も近い理想の環境だった。そんな素敵な仲間たちと過ごすうちに僕の夢はさらに膨らみ、気づいた時にはアメリカ留学への切符を手にしていた。

自分の変化への期待を胸いっぱいに詰め込んで僕はアメリカの地に降り立った。日々繰り返す新しい出会い。学びたかった分野の授業。切磋琢磨できる仲間達。こんなキラキラした生活を夢見て膨らみきった僕の胸は3か月も経つ頃にはしぼんでいた。3か月も滞在しているのに、英語力も価値観も積極性も何一つ成長した実感が得られなかったからだ。成長することを目標にしていた僕は次第に留学に対して嫌気がさすようになっていった。

そんな折、中国へ留学予定の親友と飲みに行った僕は、彼から中国留学の詳細な予定について聞かされた。留学の目的だけではなく、その達成のために現地で何をするのかを具体的なレベルで考えていた彼を見て、「アメリカにくれば自分を変えられる」という安易な想いばかりが先行し、具体的な行動を起こせていない自分が恥ずかしくなった。その日以来、僕はこの留学に対する安易な期待を一切持たないようにした。代わりに毎回の授業での発言や課外活動のボランティア、金曜夜のパーティといった目の前のことに全力で取り組み、自分が日々何をしているのかを明確にした。そうするうちに新しい親友や信頼できる教授、そして大切な恋人（交際期間一週間）との出会いといった日々の彩がどんどん増していった。

今あの10か月の留学を振り返ると、僕が当初期待していたような「自分の変化」は正直実感できていない。ただ、少なくとも日々を全力で楽しんだ実感とあそこで諦めずにやりきった自信だけは誰にも負けないと思う。

海外留学に憧れることは素敵なことだが、安易に期待を膨らますのはよくない。海外留学は自分を急激に成長させてくれる特効薬などではない。ただ、海外留学はチャンスであふれている。日々の生活で直面する壁の高さと厚さは日本にいたらなかなか感じられないし、自分の幅を広げてくれる仲間や恋人ともたくさん出会える。要はそのチャンスに気づいて、自分の糧としていけるかだ。だからこそ、僕はこれからも海外へ足を運び続ける。そこで巡り合う新しいチャンスへの期待を胸いっぱいに詰め込んで。

仲の良かった友達達とパーティにて

問いを深める留学に

三藤紫乃

「私がポーランドに留学しようと決めたのは大学２年生の初秋。幼いころに「アンネの日記」という本を読んで衝撃を受けて以来、ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害の歴史に関心を持った私はポーランドに行きたいとずっと考えていました。幸運なことに筑波大学はポーランドのヤゲロニアン大学との協定を結んでいたことですんなりと私のポーランド行きは決まりました。
日本では知名度があまり高くないポーランド。ショパンが有名なこの国は、ドイツの東に位置し、古くから豊かな芸術・文化・学問を生み出す一方、多くの苦難も経験してきました。私の研究対象であるホロコーストの現場の１つとなったアウシュビッツもポーランドにあります。

当初は英語を話すことにも抵抗があり、不安しかなかった留学。それでも笑顔で前を向いているうち、いつの間にか国籍・人種に関係なく多くの友人が周囲にいました。

各地の強制収容所を巡り、当時の生還者の話を聞き、ホロコースト研究の第一線で活躍されている先生方の話を聞く。本留学を通じて、日本ではできない多くの貴重な経験をすることができ、これまでの世界全体の歴史や現代の世界情勢、社会問題や戦争について、更に考えていきたいとも思うようになりました。留学を終えた今、私はジャーナリストになるという夢を持っています。その夢の根底には、数多くある日々のニュースの中から、重要な出来事を抽出し、人に伝え、社会を改善していく原動力になっていきたいという留学中に考えだした思いがあります。

留学中には、多くの失敗や悔しい体験もありました。その度に、なぜ私はポーランドに来たのかということを自問自答したことを覚えています。その問いを深めるうち、自分はなぜ歴史を勉強し、これからどうなっていきたいか、という更なる問いに何度もぶつかりました。時に一人で、時に現地でできた友人と一緒に考えた答えは、日本にいた時に考えていたことと少し変わり、確固とした思いになりました。

未来の国際生へ。グローバル化といわれる世の中、昔と比べると海外留学の選択肢は大幅に広がり、その敷居は低くなっています。重要なのは、留学に行くことではなく、なぜ留学に行き、そこで何をしてくるのか、ということを考え、実践していくことです。考えを深めて行く留学は、他では得られない経験になり、みなさんの今後の人生において大いに役立つものになるでしょう。留学から、社会の価値観に流されない自分の哲学を磨いていってほしいと思います。国際総合学類では、自分の学びたいことができます。有限な時間、環境の中でみなさんの無限大の可能性を探っていってください。

アウシュビッツ70周年記念式典にて。
元収容所所長の孫で、歴史の反省を伝える活動をしているライナー・ヘス氏と。

15 海外ボランティア・インターンシップ

フィリピンで働いて
小林沙英

大学2年生の夏の6週間、私はフィリピンのNGOでインターンをしました。インターンシップに参加するきっかけは、”NGO”,“発展途上国”などの言葉を授業を通して聞く中で、自分の目で見て学びたい。そして、現地に入り込んで自分が今学んでいることはどのように現実世界に結びついているのかを知り、自分はこれからどんなスキルを身につけて、何をしたいのかを知りたいと思ったからです。

インターンをしたNGOはジャパニーズ・フィリピーノチルドレン（JFC）問題に対するサポートを行っています。JFCとは日本に出稼ぎに来ていたフィリピン人女性と日本人男性の間の子供で、JFC問題とは、彼らが抱える経済的問題、精神的問題、法的問題です。インターン中は、法律の書類の翻訳と作成、国籍申請の大使館同行、家庭訪問とレポート執筆、インタビュー、日本語のレッスン、ワークショップ開催など様々な業務に携わりました。

インターン中の業務はどれも自分にとって初めてのことばかりで、日々新しい発見の中で仕事ができました。そのなかでも自分の中で印象に残っている仕事はワークショップ企画でした。ワークショップをインターン生だけで企画し、実行するという課題をもらい、他の業務の合間をぬって作り上げていきました。NGOとして、参加者たちにとって良い企画とはどんなものなのだろうか。どのようなことを自分達ができるのかを考え話し合いました。実際に私たちが作り上げてきたワークショップに対して真剣に取り組んでいる姿を見て喜びを感じました。また、終わった後には、「ありがとう」「よかったよ」とたくさん言ってもらうことによって意味のあることができたと知り、達成感をおぼえました。現地の問題に対して自分たちなりのアプローチを考え、実行するという課程を踏むことによって、企画運営能力や、問題分析能力、グループワークなどを身につけることができたと思います。

他にもインターン通して、知識面でもそうですが、メンタル面、スキル面など、ここには書ききれないくらいたくさんのことを得ました。また、それらを通じて自分には何が必要で、何をしたいのかをさらに考え、大学で勉強したいことを知るきっかけになりました。

国際総合学類ではただ教室にいるだけではわからないことを学ぶことができる、インターン、留学、ボランティア、などにチャレンジできるチャンスがたくさんあります。そして、周りには様々なバックグラウンドをもち、刺激をもらえる仲間たちや先生方がたくさんいます。ぜひ自分がチャレンジできる場所を見つけ、大学生活を楽しんでください。

ワークショップを開いているときの様子です。私たちが作ったワークに対して一生懸命考えてくれていることがすごく嬉しかったです。

経験は財産となる。
守興尚史

「ハワイ研修というものがあるらしい」、「今年初の試みらしい」、友達に教えてもらったこれらの情報のみを頼りに、確かな情報を持たないまま僕はハワイ研修の説明会に出席した。

ハワイ研修では学生が各自に研究テーマを設定することになっている。ハワイという土地を最大限生かすことのできる研究テーマが好まれるが、それ以外の制約はほとんどなく、全て自分で研究スケジュールを立てる。参加者全員がテーマに沿ったフィールドワークを行えるようにするため、訪れる土地や施設、共に行動する仲間、現地イベントへの参加など各自自由にセッティングできるのだが、この特徴が僕を本研修参加へと突き動かす最大のポイントなのである。半年後に1年間の交換留学を控えていた僕は、ハワイでフィールドワークの練習ができたら交換留学をより有意義なものにできると思い本研修の参加を決意した。そして僕は、多くの人が想像する観光地としてのハワイからは想像し難いハワイのホームレスに着目し、「歴史・社会・経済的視点から読み解くハワイにおけるホームレス問題」というテーマで研究を進めることにした。

“ホームレス問題”という複雑な社会問題をテーマにしたので、研修前に日本で、本やインターネット、ハワイが舞台の少し古い映画などを見て、ハワイの歴史をしっかりと学んだ。また、事前に研修中の訪問先のアポを取り、スケジュールも綿密に組んで出国に備えた。

いざ、ハワイに着いて驚いた。街の中心地ホノルルにある大型ショッピングセンターの入り口近くやその周辺、また同じくホノルルにあるコンビニの前など目につくところにホームレスの方がたくさんいたのだ。大通り沿いのバス停のベンチにはほとんどの確率でホームレスの方がいて、たまに通行人から食べ物をもらったりしていた。食べ物をあげている人の多くは教会の人で、たまに教会でホームレスの方に対する炊き出しも行っているという。また、とある農業経営者は低所得者に“食”ではなく“職”を与えるために、低所得者を積極的に雇いたいとおっしゃっていたが、自分の収入も決して多いとはいえず、なかなか難しいという。

僕がこの研修で得た1番の収穫は、フィールドワークは歩いて行うからこそ価値があると気付いたことだ。移動の手段は多々あるが、自分の足で歩くと自然と土地感がつく。それだけでなく、意外な発見に出会う可能性も高く、現地の人と触れ合う機会も増す。実際、歩いて感じたこと・気が付いたことが本研究に役に立つことが多かった。この経験を1年間の交換留学にも生かそうと思う。

家庭環境の調査をした際の様子です。インタビューの後に日本語教室を行いました。すると近所から子供たちが集まってきました。

日本人として僕ができること
森 大輔

「何年かかってでも日本に留学する。」筑波に入学した数ヶ月後、ホーチミンの孤児院でボランティアをしている時に出会った貧しい青年のこの一言が、僕がベトナムと関わりを持つようになるきっかけだった。

ベトナム・ホーチミンの郊外、ビエンホアの日本語教室に訪問を始めたのは大学1年生の時。当時は、ある程度大きいこの町の日本語コミュニティーに関わっている日本人はほとんどいなかった。

僕はその青年や、さらにまた別の少女が紹介してくれた日本語教室でネイティブスピーカーとして、生徒たちと会話の練習をした。その後も何回か教室に訪問するようになり、日本にいる時も、SNSを用いて日本語の練習相手や日本文化紹介を行っている。

僕がビエンホアの日本語コミュニティーに関わるのには理由がある。ビエンホアのベトナム人たちは、政治や生活水準、交通など様々な要因が影響して、閉鎖的な環境に閉じこもり、自分の将来の選択肢の多さに気づかないでいるのだ。簡単なことではないが、日本や日本語というフィルターを通して、彼らの世界を広げたい。

大学入学以来4回目の渡越となる今夏からは、約1年間、ベトナム中部の都市ダナンでインターンとして、デザイナーズお土産ブランドの立ち上げプロジェクトに取り組む。微力ながら、日本とベトナムをつなぐ一助になりたい。この滞在中に、ビエンホアの日本語教室にも再び訪問し、筑波の留学生たちから集めた日本語教材などを届ける予定だ。

一部のベトナム人たちの、日本を常に美化して批判的に見ようとしない、そのような態度には常に厳しい視点を持ちつつ、また彼らと同じ目線を持つことにも努めながら、今後もこの日本語コミュニティーに関わっていきたい。

ベトナム、ビエンホアの日本語教室にて

国際総合学類生が参加できる大学の留学プログラムを紹介！

•AIMS プログラム
数々のサポートを受けて、ASEAN諸国へ短期留学ができる！

AIMSは、アセアン諸国の学生交流を活発にすることを目的としたプログラムで、約4か月間アセアン諸国の大学へ留学します。1学期間だけなので卒業が遅れることがない上、留学先大学の授業料免除、往復渡航券支給、月7万円の奨学金支給（条件を満たした学生のみ）など数々のサポートを受けて留学することができます。英語力の向上はもちろん、自分の可能性を大きく広げることが期待できます。

AIMS生の集合写真

留学先
オーストラリア、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム

詳しくはAIMSホームページへ：
http://www.global.tsukuba.ac.jp/tag-aims/study-asean?language=ja

•ASIP 地域研究イノベーションプログラム
5年で修士号まで取得可能！新興国を舞台に活躍しよう！

ASIPは、2013年から始まった主に社会・国際学群の学生を対象としたプログラムです。大学を3年半で早期卒業し、大学院1年目は新興国に留学してフィールド調査などを行います。帰国後、半年で修士論文を書くことで最短で5年で修士号まで取得することができるのが特徴です。卒業後は新興国を舞台に活躍する人材となることが期待できます。

ASIP 第１期生、第2期生の集合写真

留学先
ブラジル、ペルー、チリ、メキシコ、インド、ベトナム、中国、インドネシア、モロッコ、チュニジア、ウクライナ、カザフスタン、ウズベキスタン

詳しくはASIPホームページへ：
http://asip.hass.tsukuba.ac.jp/index.html

17 OB・OG からのメッセージ

様々な機会を通じ、自身の可能性の探求・成長を!

福丸博之　5期（1991年卒業）

▶三菱商事株式会社 ロジスティクス総括部

「ロシアのクリミア半島編入に対し欧米諸国が同国に制裁発令」、「シリアが内戦状況に」、「イスラム国（過激派組織）によるテロ」、「ギリシャ財政危機」、「ネパールで大地震発生」・・・これら最近のニュースを聞くと、私の仕事は俄然忙しくなります。

私は総合商社で、これら経済制裁、内乱、テロ行為、為替の制限・禁止、自然災害等で海外における事業が損害を受けるリスク（一般的に「カントリーリスク」と呼ばれています）をカバーする特殊な保険（貿易保険）を扱っております。

仕事上、日々の国際政治・経済情勢が直接関係し、社内の世界ネットワーク等による関連情報に接しながら業務を遂行しております。また、特に発展途上国向けプロジェクトにおいて十数年もの間、当該国のカントリーリスクを一民間企業で保有することは現実的ではなく、保険引受者（実質日本政府）に対する保険引受交渉が実を結び当該プロジェクト遂行、ひいては当該国の経済発展に寄与出来ることでこの仕事にやりがいを感じています。

さて、今思い返せば、私の大学時代（四半世紀ほど前、入学は昭和!）は多くの友人との出会い、旅行等であっという間でした。

当時、インターネットやスマホ等はなく、同じ学類、サークル等で知り合った他学類の友人、留学生等と直接朝まで語り合った日々。（1年生の時、同級が何気に貸してくれた北朝鮮に関する本を読み、当時関心が薄かった同国に興味を持ち、卒論テーマに選んだことも思い出の一つです）

また、纏まった時間がとれると、ふらっと国内（北海道、東北一周や船で29時間かけて行った沖縄等）やバックパッカーで海外（アジア、欧州、北米、オセアニアの10ヵ国以上）を旅し、現地人や世界からの旅行者との出会い等様々な現地体験は今もって私の考えや行動に良い影響を与えています。

現在、世界は激動の時代を迎えていると感じており、本学類で学んだ政治、経済、歴史、宗教、文化、安全保障等は、世界の動向を理解する上で今なお役に立っています。まさに、これら幅広い分野が学べる本学類は、現代を理解する知識、対応するヒントを与えてくれると思います。

そして、共に学ぶ友人、深い専門知識をお持ちの先生方、世界・幅広い分野に散らばるOB/OG（ＦＢのグループメンバーは800名以上!）等の存在は、自分を見つめ直し、自らの可能性を探求し、自身の価値を高めることに有益だと思います。

本社入口隣にある「MC FOREST（弊社CSR活動を紹介し、同時に未来へ向け情報発信していくステーション）」の前で

本学類には、このような自分の可能性を探求し、高める多くの機会が存在します。これら貴重な機会を逃さず、自身が大きく成長されることを願ってやみません。（大学時代は長いようであっという間ですよ・・・）

自分の将来作るピースを

古本建彦　13期（2000年卒業）

▶外務省南米課首席事務官

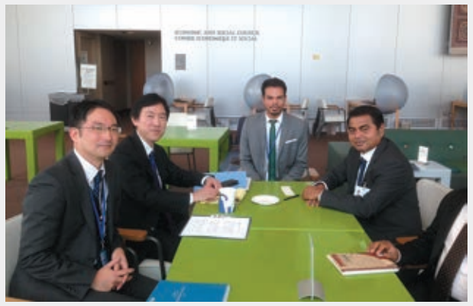
勤務先は外務省、国連、報道、NGO…。いずれも私一人の経歴だ。

大学卒業後、最初に就職したのは、共同通信社だった。6年間で福岡、松江、大阪、横浜と転勤し、事件、行政、選挙取材で現場をかけずり回った。その後、最初の転職を決意した私は、留学や南スーダンでの国連ボランティア、NGOなどを経て、国連開発計画（UNDP）の職員となった。UNDPでは、ネパール国事務所やニューヨークの本部に勤務し、選挙支援や援助の効率化など、「ガバナンス」に関する様々なテーマに取り組んだ。そして2012年、外務省に入省し、ODAや気候変動などを担当してきた。

こんな、一見すると一貫性のない経歴を人に話すと驚かれることもよくある。しかし、平和構築や途上国の開発をライフワークの一つと考えている私にとっては、ごく自然な流れであった。そして、このような道を歩むことになったきっかけの一つに、国際総合学類の教員であった秋野豊先生との出会いがある。皆さんの中にも、ご記憶の方がいるだろうか、秋野先生は1998年、国連ミッションに派遣されていたタジキスタンで武装集団の襲撃に遭い、命を落とされてしまった。しかし常々「紛争解決の処方箋づくり」を口にされていた先生の言葉は、当時ゼミ生だった私に、途上国支援や平和構築に関わることを強く動機付け、以後の私のキャリアにおいてひとつの大きな軸を作ることとなったのだ。そして国際総合学類では他にも、個人的興味の赴くままの卒論を丁寧に指導していただいた先生方から「調べる」ことの楽しさを学び、また交換留学制度は、私の視野を大きく広げる一助となってくれた。

大学を卒業してからの私の経歴は、こうした国際総合学類でつくられた軸を見据えながら行動してきた結果だ。特派員として紛争報道に携わろうと記者になったが、しだいに“観察者”よりも（これも重要だが）、より直接的に問題解決に関与するため、そして平和構築や開発の“実務家”となるため国連を目指した。やがて日本発でこうした分野の活動を推進したいと思い、外務省に入省した。振り返ってみると、国際総合学類当時の経験がきっかけとなりその後の私の経験はすべて貴重な糧として今に生きている。記者として文章力・発信力を養い、国連で現場と実務を学び、今、外務省で過去の経験を日本外交に生かしている。

私は2015年夏から、外務省で南米諸国との外交全般をみる部署にいる。今度は南米にフォーカスして、日本と各国、地域との絆を如何に強めていくのかが問われている。これからも、自分が国際総合学類で心に定めたテーマをもちつつ、さまざまな経験を糧として、日本、そして国際社会の安定と発展のために貢献していきたい。国際総合学類の後輩たちにも、この学生生活で自分の将来を形作る重要なピースを見つけることを期待したい。


国連本部で他国代表団との打ち合わせ後

「自分で見て聞いて感じて　それが本当の世界だ」筑波大学国際総合学類の皆さんへ

森田百合　25期（2011年卒業）

▶日本放送協会　報道局　政経・国際番組部　ディレクター

筑波の国際総合学類を卒業して５年。私は今、テレビのディレクターという仕事に就いています。その仕事とは、人と出会い、見て聞いて、感じたことを自分たちで撮った映像と言葉で伝えることの繰り返しです。私の視点や感覚の土台となっているのは学生時代の4年間で得た“世界観”でした。

初任地は宮崎県。知らされたときは、憧れの海外取材からは縁遠くなってしまうのではと落ち込んだのも事実。だけど、いざ宮崎に行ってみると、東京では見ることのなかったであろう、広い世界を見ることができました。私が赴任した宮崎は全国でも有数の畜産業が盛んでした。ところが、私が宮崎に赴任する一年前、宮崎県内では「口蹄疫」という家畜の伝染病が発生して大流行してしまいました。口蹄疫とは牛や豚が感染すると、下痢などの症状が出て出荷することができなくなる病気です。そして、病気を広げないために健康な牛や豚も発生した地域内にいれば殺処分しなければなりません。そこには食べられることもなく殺されていく牛や豚を見て涙を流す人たちがいました。私は、立ち直りゆく農家さんに密着取材させてもらい、そこから今まで知らなかった世界を見ました。「これだけの情熱がかけられている日本の畜産業は世界の食の市場で勝ち残っていけるのか。」という思いが湧き上がってきて、その後、アジアやヨーロッパ、7か国で和牛の取材をさせてもらいました。そこで見たのは各国の壮絶な農業の世界。日本の牛であるはずの和牛が中国で育てられていたり、オーストラリアで和牛の遺伝子ビジネスで成功している人がいたり…..世界では、想像以上の何かが起きていたりするのです。

筑波の国際での4年間がなかったら、私は宮崎でこのような広い世界を見ることがなかったかもしれません。私が学生時代に興味を持っていたテーマはミャンマーの政治難民についてでした。日本にいるミャンマー人に話を聞いたり、実際にミャンマーに国際の友人と行ってみたりもしました。それ以外にも、長期休暇の度にアルバイトでお金をためて国際の仲間と北南米やアジアを飛び回りました。「遠い国でも何かが日本と繋がっている」。そこから見えてきた真実は私の世界観を大きく変えてくれました。

2013年11月　香港で畜産の取材

筑波の国際生は世界の最前線の動きを知るプロの先生方やそれを知ろうとする仲間に囲まれています。好奇心と行動する勇気があれば、自分の世界をどんどん広げていける4年間が待っています。それは、きっとみなさんの人生を豊かにしてくれるはずです。

主な就職先一覧（平成 18-26 年度）

▶公務員・独立行政法人・NPO
外務省　防衛省　経済産業省　厚生労働省
警察庁　自衛隊　東京国税局　国際開発センター
国際交流基金　茨城県警察本部　埼玉県庁　JICA

▶商社
丸紅　三井物産　三菱商事　伊藤忠商事　住友商事
豊田通商　JFE 商事

▶マスコミ・広告
NHK　共同通信社　日本経済新聞社　朝日新聞社
読売新聞社　北海道新聞社　河北新報社　電通
リクルート　KADOKAWA　セプテーニ

▶金融・保険
三井住友銀行　三菱東京 UFJ 銀行　ゆうちょ銀行
みずほフィナンシャルグループ　モルガン・スタンレー
大和証券　アメリカンファミリー生命保険

▶製造・建設
川崎重工業　大東建託　本田技研工業
大林組　井上特殊鋼　JX 日鉱日石金属
東レ　キョウデン

▶流通・情報・エネルギー・不動産　など
日本 IBM　日本通運　日本郵船　ANA Cargo
アクセンチュア　スターバックスコーヒージャパン
江崎グリコ　マルハニチロ　伊藤園　イーオン
三菱総研 DCS　東京ビッグサイト　楽天　ベネッセ
伊藤忠テクノソリューションズ　エイチ・アイ・エス
三菱商事ロジスティックス　東京電力　JR 東日本
JTB 首都圏　セブン - イレブン・ジャパン

19 学生紹介

Question & more → 座右の銘　①出身地・出身校　②ゼミ・専攻　③人生で一度はしたいこと

泰然自若

相澤 雅　Masashi Aizawa

①神奈川県・法政大学第二高校
②首藤ゼミ・アジア政治
③隠居

anything goes

青山 俊之　Toshiyuki Aoyama

①千葉県・幕張総合高校
②井出ゼミ・言葉を切り口にした社会事象（文化やメディア）の分析
③宇宙空間に浮遊して地球を鑑賞すること

わたしらしく

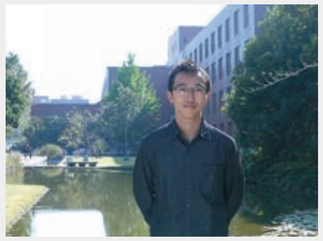
阿部 夏実　Natsumi Abe

①新潟県・新潟高校
②井出ゼミ・アイデンティティとことば
③砂漠のまんなかで泣けるくらいきれいな星空を見る！

Dream as if you'll live forever. Live as if you'll die today.

荒井 薫　Kahoru Arai

①メキシコ合衆国・茨城県立藤代高校
②井出ゼミ・言語人類学
③世界一周無計画の旅！



一期一会

荒尾 優太　Yuta Arao

①東京都・千葉県東邦大学付属高校
②首藤ゼミ・国際関係学
③ミッキーの中に入ること

おもしろきこともなき世を面白く

池上 加菜　Kana Ikegami

①山梨県・甲府第一高校
②前川ゼミ・地域活性化・まちづくり
③一人で世界一周

省エネ

石井 かすみ　Kasumi Ishii

①茨城県・土浦第一高校
②前川ゼミ・自然と地域開発について
③テレポート

安請け合いしない

伊藤 大貴　Hiroki Ito

①福島県・福島高校
②首藤ゼミ・日本外交についての研究
③もう一度自分主演の映画を撮って、恥ずかしさのあまりにのたうち回りたい。

Change ⇄ Chance

稲野辺 海　Kai Inanobe

①神奈川県・函館白百合学園高校
②レスリーゼミ・Marketing with Social media
③タヒチのボラボラ島に行く（まだ行ったことないから 1 回、そして死ぬまでにもう 1 回）

敵を知り、己を知れば、百戦危うからず

岩田 健太郎　Kentaro Iwata

①北海道・岩見沢東高校
②田中ゼミ・グローバル経済史
③世界一周家族旅行

なんとかなる！

上原 紗英　Sae Uehara

①埼玉県・浦和明の星女子高校
②吉田ゼミ・国際法
③世界一周旅行

elegance is when the inside is as beautiful as the outside.

瓜生 彩華　Ayaka Uryu

①Utahloy International school of Guang Zhou
②Pohl ゼミ Buisiness Management
③ゆっくり時間をかけて世界一周クルージング

髪のセットは心のセット

及川 佳祐　Keisuke Oikawa

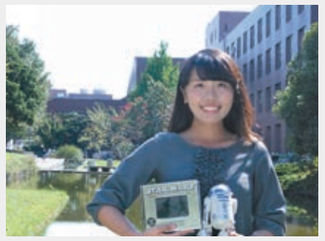
①宮城県・仙台第二高校
②Pohl ゼミ・Management
③パク宙

2013年度入学 31期

一日一生！全力で！

大塚 優希　Yuki Otsuka

①京都府・洛北高校
②関根ゼミ・開発人類学
③世界の絶景めぐり



瞬間の集積が時間であり、時間の集積が人生である。

大津 友璃瑛　Yurie Otsu

①東京都・東京学芸大学付属高校
②松原ゼミ・未定
③全国お漬物食べ比べ大会

stay hungry stay foolish

大橋 哲平　Teppei Ohashi

①神奈川県・公文国際学園
②前川ゼミ・未定
③できれば、冷凍保存されてみんなより先の未来へ行く

自他共楽

岡田 賢斗　Kento Okada

①東京都・芝高校
②レスリーゼミ・Political Branding
③「情熱大陸」で密着取材を受ける。

21 学生紹介

Question & more → 座右の銘　①出身地・出身校　②ゼミ・専攻　③人生で一度はしたいこと

Action is eloquence

押切 啓介　Keisuke Oshikiri

①山形県・長井高校
②中野ゼミ・開発経済学
③パタゴニア渡航

十人十色、どんな時も自分らしくいること

掛神 有希奈　Yukina Kakegami

①新潟県・Miami Palmetto Senior High School
②松原ゼミ・都市計画
③ドッペルゲンガーに会ってお互いの人生について語り合う

座右の銘は持たない

加藤 太一　Taichi Kato

①福島県・磐城高校
②吉田ゼミ・国際法
③熊と素手で戦う

一瞬に生きる

神長 広樹　Hiroki Kaminaga

①茨城県・土浦第一高校
②内藤ゼミ・電子政府
③シャンパンファイト

やってやれないことはない

川上 彩乃　Ayano Kawakami

①千葉県・小金高校
②毛利ゼミ・中国の地方政府によるガバナンス
③時間に追われない生活

笑う門には福来たる

國重 沙耶香　Sayaka Kunishige

①神奈川県・平塚江南高校
②柏木ゼミ・中東，北アフリカ経済
③海外で茶道！

You can always do more than you think can

久保 貴嗣　Takashi Kubo

①埼玉県・昌平高校
②東野ゼミ・ヨーロッパ政治
③両親への恩返し

僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる

小泉 拓也　Takuya Koizumi

①埼玉県・春日部共栄高校
②首藤ゼミ・アジアの国際関係
③本を出版する。

求めよ。さらば与えられん。

小島 浩道　Hiromichi Kojima

①兵庫県・京都共栄学園高校
②吉田ゼミ・武力不行使原則と人道的干渉のバランス
③ガーター騎士団の正装をしてセント・ジョージ・チャペルまで行進する

No pain, No gain

小林 沙英　Sae Kobayashi

①兵庫県・葺合高校
②Sapkota ゼミ・Globalization and Development
③自分のルーツをたどる旅をしてみたい！

Do or do not. There is no try. Yoda

米谷 由依　Yui Kometani

①福井県・藤島高校
②岩崎ゼミ・比較政治学
③おばあちゃんになってもバイクに乗り続ける

寝ることは幸福の基本

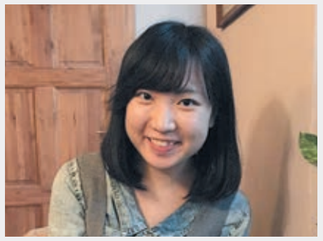
齋賀 春香　Haruka Saiga

①北海道・札幌東高校
②中野ゼミ・開発経済学
③スカイダイビング

失敗を恐れない

齋藤 光　Hikaru Saito

①栃木県・宇都宮高校
②赤根谷ゼミ・国際関係
③マルチリンガル



結果がすべて

齊藤 美優　Miyu Saito

①岩手県・不来方高校
②藩ゼミ・現代日本外交史
③地元の小中学校で講演

“いま” を生きる、強くあれ　わたし

齊藤 里奈　Rina Saito

①群馬県・太田女子高校
②大友ゼミ・国際関係（理論）
③ダイヤモンドの採掘

禍福は糾える縄のごとし

佐久間 一生　Issei Sakuma

①東京都・明治大学付属中野高校
②亀山ゼミ・人工知能
③愛情を持って石を交換する

保湿は大事

佐藤 栞　Shiori Sato

①青森県・青森高校
②毛利ゼミ・日中関係
③柴犬と三毛猫を飼う

明日は明日の風が吹く。

佐藤 達裕　Tatsuhiro Sato

①秋田県・能代高校
②白川ゼミ・河川利用
③なんもないシベリアで叫びまわる

23 学生紹介

Question & more → 座右の銘　①出身地・出身校　②ゼミ・専攻　③人生で一度はしたいこと

楽あれば苦あり、苦あれば楽あり

佐藤 友紀　Tomonori Sato

①新潟県・新潟明訓高校
②東野ゼミ・EU，ヨーロッパ政治
③全国 47 都道府県制覇

滑り込みセーフ！

佐藤 萌　Moe Sato

①東京都・桐朋女子高校
②田中ゼミ・世界経済史
③冬眠（本格的に）

結果にコミットする

澤山 凌介　Ryosuke Sawayama

①大阪府・関西学院千里国際高校
②毛利ゼミ・中国政治
③結果にコミットすること

Where there's a will, there's a way.

高橋 真生　Maki Takahashi

①茨城県・茗溪学園高校
②関根ゼミ・多文化共生と途上国開発
③夜空を埋め尽くすスカイランタンを見てみたい！

早寝早起き

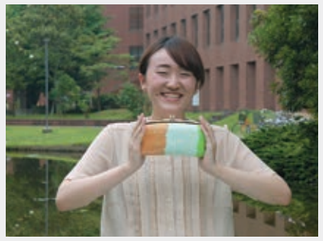
高橋 里江　Rie Takahashi

①岩手県・釜石高校
②東野ゼミ・ヨーロッパ政治
③ファーストクラスでヨーロッパ旅行

一意専心

竹林 尚輝　Naoki Takebayashi

①千葉県・船橋高校
②吉田ゼミ・国際法
③マラソンで世界一周



ほどほどにのんびり楽しく

朱 恵　Megumi Syu

①茨城県・土浦第一高校
②前川ゼミ・異文化比較（悩み中）
③竜神大吊橋からバンジージャンプ

EVERYDAY IS A NEWDAY.

可愛いは作れるっ！

新谷 美晴　Miharu Shintani

①神奈川県・横浜共立学園高校
②毛利ゼミ・中国の対 ASEAN 外交
③宝くじで一等当てる

悠悠自適

田代 江太郎　Koutaro Tashiro

①群馬県・前橋高校
②前川ゼミ・まちづくり
③W 杯現地観戦

明日から本気出す

田山 大樹　Daiki Tayama

①茨城県・鉾田第一高校
②首藤ゼミ・東南アジア国際関係
③アフロヘアー

挑戦せずして前進なし

筑井 瑞穂　Mizuho Tsukui

①群馬県・前橋女子高校
②中野ゼミ・開発経済学
③47都道府県制覇、その地の美味しいごはんを食べる

現在（いま）を楽しんで生きる

鈴木 美悠　Miyu Suzuki

①東京都・桜修館中等教育学校
②柏木ゼミ・開発経済
③スカイダイビング！絶対に死ぬまでにやる。

為せば成る

関根 希　Nozomi Sekine

①茨城県・茨城高校
②遅野井ゼミ・ラテンアメリカ政治
③海外旅行（一人旅）

誠心誠意

相馬 拓宜　Hiroki Soma

①栃木県・足利高校
②柏木ゼミ・開発経済
③宇宙旅行

今も楽しむ

土屋 紘希　Hiroki Tsuchiya

①埼玉県・開智高校
②柏木ゼミ・北アフリカ地域の観光発展の願望と課題
③パスポートの増刷

美は一日にしてならず。

戸塚 玲緒那　Reona Totsuka

①茨城県・聖徳大学付属取手聖徳女子高校
②奥島ゼミ・環境経済学
③腹筋を割ること

おちこんだりもするけれど、私はげんきです

寺尾 侑子　Yuko Terao

①東京都・都立国際高校
②Sapkota ゼミ・社会開発
③シュールストレミングでサンドイッチづくり

25 学生紹介

Question & more → 座右の銘　①出身地・出身校　②ゼミ・専攻　③人生で一度はしたいこと

明日出来ることは今日しない

寺町 六花　Ritsuka Teramachi

①北海道・札幌南高校
②柏木ゼミ・六次産業についての研究
③南極点に行ってみたい

やる気元気梨咲

長尾 梨咲　Risaki Nagao

①埼玉県・浦和第一女子高校
②東野ゼミ・ヨーロッパ政治
③オーロラを見る

三度の飯より寝ていたい！

仲本 成美　Narumi Nakamoto

①沖縄県・球陽高校
②吉田ゼミ・国際平和について
③授業中、突如として教室に入ってきた不審者に対し、私の隠された才能と機転を発揮し撃退。ヒーローになる！！

何とかなる。

西川 藍莉　Airi Nishikawa

①愛知県・Barrington Municipal High School
②松原ゼミ・都市計画
③カナダにいるときに友達になった世界中にいるみんなを訪ねる

広壮豪宕

沼崎 光　Hikaru Numazaki

①岩手県・宮古高校
②奥島ゼミ・固定価格買取制度改正による経済的影響
③多額の不労所得を得る

人間万事塞翁が馬

根津 杏奈　Anna Netsu

①長野県・長野日本大学高校
②毛利ゼミ・中国政治
③世界遺産めぐり

Roots Before Branches

根本 成美　Narumi Nemoto

①茨城県・並木高校
②赤根谷ゼミ・安全保障
③自由に世界旅行‼

努力も実力のうち！

拝田 涼香　Suzuka Haida

①熊本県・熊本高校
②前川ゼミ・未定
③富士山に登る！！！

Doing more with less.

長谷川 輝　Hikaru Hasegawa

①千葉県・麗澤高校
②亀山ゼミ・人工知能、コンピュータビジョン、CG
③リーマン予想を証明するような圧倒的興奮

人が人を助ける理由に論理的な思考は存在しない

畠山 夏樹　Natsuki Hatakeyama

①群馬県・東京農業大学第二高校
②中野ゼミ・開発経済学
③世界で最も誰かの助けを必要としている人々の力になること。

なるようになる

服部 真由子　Mayuko Hattori

①埼玉県・淑徳与野高校
②Sapkota ゼミ・開発社会学、開発経済学
③沐浴

本を読むなら、人と話せ。

早川 大輝　Daiki Hayakawa

①埼玉県・大宮高校
②関根ゼミ・未定
③南の島買い取ってイルカと BBQ

なんとかなる

日比野 愛　Ai Hibino

①岐阜県・岐阜東高校
②白川ゼミ・川からのまちづくり
③家族で海外旅行

I HAVE A DREAM!

いのち短し 恋せよ乙女

平岡 千沙　Chisa Hiraoka

①京都府・京都女子高校
②毛利ゼミ・東アジア国際関係
③好きな映画のワンシーンを再現

ない！

福田 尚美　Naomi Fukuda

①岐阜県・関高校
②柴田ゼミ・国際教育
③両親へ渾身の親孝行

人間は考える葦である。

藤川 裕　Yu Fujikawa

①東京都・日比谷高校
②吉田ゼミ・国内法体系における国際法の役割
③モンゴルのゲルに住みたいです。

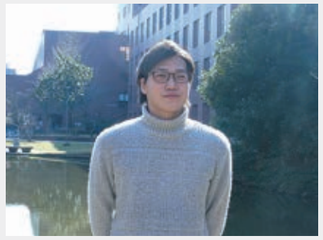
自分が考えたように生きなければならない、そうでなければ人は自分が生きたように考えてしまう

藤木 耀　Hikari Fujiki

①福岡県・三池高校
②関根ゼミ・文化人類学、開発学 独立論文では共生の価値観の獲得についてエスペラントを事例に考える。
③谷崎潤一郎賞、読売文学賞等受賞

27 学生紹介

Question & more → 座右の銘　①出身地・出身校　②ゼミ・専攻　③人生で一度はしたいこと



能ある鷹は爪を隠す

藤崎 将也　Masaya Fujisaki

①大阪府・近畿大学付属和歌山高校
②井出ゼミ・未定
③海岸の清掃活動

つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの

藤原 誠士　Masashi Fujiwara

①福岡県・朝倉高校
②白川ゼミ・河川環境工学
③スクリーンデビュー

自分トフタリッキリデ暮ラスノダ

前田 紗希　Saki Maeda

①愛知県・丹羽高校
②白川ゼミ・河川、水環境
③自分の家族を持つこと

日々精進

堀江 真里子　Mariko Horie

①群馬県・高崎女子高校
②松原ゼミ・都市計画
③今まで出会った大好きな人達を全員家に招待して友達になってもらう！か、猫語を習得する

IMAGINE THE FUTURE.

やらなかった後悔より やった後悔。

松井 純一　Junichi Matsui

①千葉県・幕張総合高校
②奥島ゼミ・環境経済学
③結婚

Enjoy your life. This is NOT a reherasal.

道下 悠里　Yuri Michishita

①埼玉県・栄東高校
②大友ゼミ・国際政治
③世界で自分が一番輝いていると確信できる瞬間を作ること

求めよ、さらば与えられん。 尋ねよ、さらば見出さん。 門を叩け、さらば開かれん。

守興 尚史　Takafumi Morioki

①千葉県・県立船橋高校
②松原ゼミ・モロッコ都市の文化的意義
③野生のクジラに触る

十人十色

森 大輔　Daisuke Mori

①神奈川県・小田原高校
②首藤ゼミ・ベトナムにおける日系企業と韓国企業の競合と共同
③あまりにも多すぎるため省略！

マーティンルーサーキング Jr.

守谷 賢人　Kento Moritani

①千葉県・Dublin Coffman High School
②白川ゼミ・河川工学
③紐なしバンジージャンプ

どんな瞬間も幸せ。考え方次第。

安田 さくら　Sakura Yasuda

①福岡県・自由が丘高校
②中村ゼミ・毛利ゼミ 各国の政治体制（特に社会主義）・指導者・経済・外交などを幅広く研究し、比較。ゆくゆくはユーラシアを制覇したい勢いです
③どこかの（お金持ちの）国の王子（イケメン）と結婚してお姫様になりたいです

ま、いっか

山口 裕太郎　Yutaro Yamaguchi

①埼玉県・春日部高校
②前川ゼミ・村について
③お母さんに一日一時間と決められているゲームボーイを二時間やってみたい

これがあなたの人生だ。 リハーサルではない。

山田 怜奈　Rena Yamada

①新潟県・津南中等教育学校
②白川ゼミ・都市における水管理技術に関する研究
③大きな船の上で一年を過ごしてみたい！

手の届く距離の人を 大切に生きる

湯川 夏実　Natsumi Yukawa

①神奈川県・公文国際学園
②関根ゼミ・人類学
③嬉し泣き・「お母さん」をやってみたい

できること・やりたいこと・ やらねばならぬこと

和田 桃乃　Momono Wada

①福井県・敦賀高校
②松原ゼミ・都市計画
③丸坊主

If not me, who?

Mukhametova Maria

①ロシア・アストラハン市高校＃35
②コーヴェルゼミ・ロシアの政治の進歩
③いろんな人に毎日会えるチャンスとして、タクシードライブをやってみること。

人生は一度きり！

Yamamoto Asei

①アルゼンチン・カルロス・ペレグリーニ高校
②未定
③世界一周

Life is not about the things you achieved, it's about the struggles you go through to achieve them

Hidayah Binti Megat Nabil Mohsin

①マレーシア・Jalan Empat Secondary School
②コーヴェルゼミ・国際関係・国際政治
③外国の一人旅

29 Campus Life

1st

2nd

3rd

4th

国際総合学類紹介誌
「明日のEXECUTIVE」2016年度版

発行：筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類
〒305-8573茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日：2016年3月1日
編集責任者：関根久雄
編集：国際総合学類
岡田賢斗　佐藤栞　畠山夏樹　平岡千沙　土屋紘希

[国際総合学類へのお問い合わせ]
国際総合学類事務室
Tel:029-853-6010